

校長室より

「天空高き」



第149号



令和3年9月17日

第73回運動会—自分にできることを全力で—

新型コロナウイルスデルタ変異株による感染拡大により、3年生の保護者参観が中止。また、長雨の影響でグラウンドでの練習、予行が行えず、当日の早朝より教職員、生徒の総勢でどうにかグラウンド整備が完了。まさに、第73回運動会はぶっつけ本番になりました。

学校行事が皆さんにとって充実した、思い出に残るものにするためには、良い準備、当日での一人ひとりのパフォーマンスの発揮、そしてみんなで協力して後片付けをきちんとすることです。

皆さんは、このような状況下で、仲間と協力しながら準備に取り組みました。当日の徒競走と学年による団体種目（付属中は全校）では、一部残念な場面がありましたが、全体的に素晴らしいパフォーマンスを発揮しました。後片付けは見事に30分で完了しました。



運動会や楽学祭、そして修学旅行などの学校行事は大切です。コロナの影響でいろいろな制限を受けますができる限り行いたいと思います。その理由は、学校行事などの体験活動は、それぞれの行事を通してしか学ぶことができない、実践的な活動だからです。

皆さんが友達と、先輩や後輩、そして先生方と協力して取り組むことで、学校生活に満足感や充実感を味わうことができます。メリハリのある学校生活を送ることができます。

9月21日～22日に第13回楽学祭が開催されます。今年度のテーマは、Breakthrough 皆で乗り越える—Love Your Life, 自分自身も大切に—です。

支えられて人は自分で立てるようになる

荒瀬克己

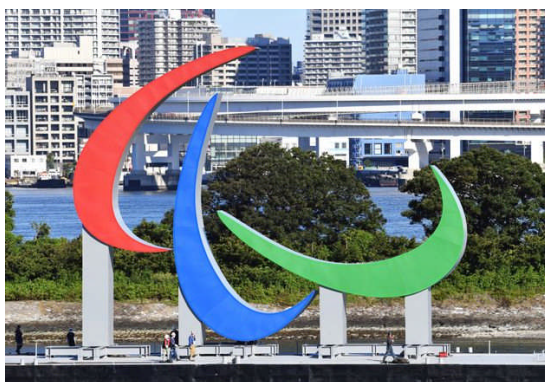
Breakthrough には、(行き詰まりの) 突破、突破口、打開、という意味があります。皆さんが知恵を出し合って様々な困難を突破、打開し、一人ひとりの生活や人生を大切にしていこう、というメッセージが込められているのではないのでしょうか。楽学祭に向けて仲間と一緒に頑張って良い準備をしましょう。

TOKYO2020 パラリンピックー共生社会に向けてー

オリンピックに引き続き、8月24日～9月5日まで開催され、私たちに多くの感動と元気を届けてくれました。

パラリンピック (Paralympic) は、国際パラリンピック委員会 (IPC) が主催する、身体障害者 (肢体不自由、脳性麻痺、視覚障害、知的障害) を対象とした、世界最高峰の障害者スポーツの総合競技大会です。オリンピックと同じ年に同じ場所で開催されます。

Paralympic の名称は、ギリシャ語の Para (英語のパラレル (平行) の語源) + オリンピック (Olympic Games) の合成語で、「もう一つのオリンピック」として、1988年のソウル大会から、「パラリンピック」として正式名称となりました。



お台場海浜公園の海上「スリー・アギトス」

パラリンピックの起源は、1948年にロンドンオリンピックが開催された時に、イギリスのストック・マンデビル病院で行われたストック・マンデビル競技大会とされています。これは、戦争で負傷した兵士たちのリハビリテーションとして「手術よりスポーツを」の理念で開催されました。

パラリンピックのアスリートたちは、様々な障害に対して創意工夫を凝らして限界に挑んでいます。そして、彼らのチャレンジに対して必ず彼らを直接あるいは間接的にサポートしている方々がおられます。パラリンピックは彼らのサポートなしには成立しません。

パラリンピックは多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し活躍できるこれからの共生社会を私達に見せてくれています。社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や発想の転換が必要であることにも気づかせてくれます。パラリンピックは、私たちに未来への希望を提示してくれています。それがパラリンピックの存在理由であり価値ではないでしょうか。

共生社会に向けてーじんけんフェスタ 2021inいわくにー

・・・彼女は目が「不自由」であるが、(目の見える) 私より「劣っている」わけでは無いのだ。健常者には出来、障害者には出来ないこともあるだろう。しかし、それを「個性」ではなく「優劣」として捉えたならば、それは間違いなく差別である。また、そうした考えを発信すると、いじめにもつながる。

この一部の文章は、「じんけんフェスタ 2021in いわくに」に出品された、ある高校生の作文です。

そして、次の文章につながります。

では、差別やいじめを生まないために、私たちに求められる力は何なのか。私は、相手の立場に立って物事を考える、想像力が最も必要な力だと考える。・・・

私たちは、差別やいじめのない社会を目指しています。この高校生の作文はまさに、その解決策の一つを私たちに示してくれています。

広辞苑の「個性」には、次のような説明が載っています。

① (individuality) 個人に具わり、他の人とはちがう、その個人にしかない性格・性質。② 個物または個体に特有な特徴あるいは性格。

「個性」を決して「優劣」と捉えることのないように、私自身も含め自戒したいものです。

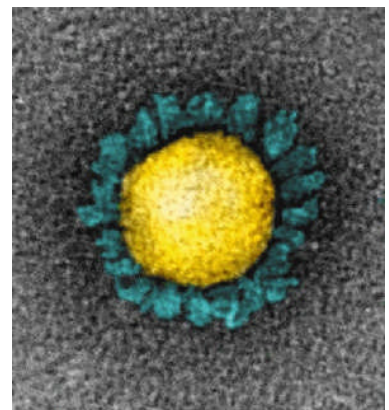
新型コロナウイルス・デルタ株—感染力なぜ強い?—

新型コロナウイルスの変異株であるデルタ株が世界中に拡散しています。

デルタ株の特徴は、人の細胞へのくっつきやすさと、感染した人が出すウイルスの数が圧倒的に多いということです。

右の写真がデルタ株の電子顕微鏡写真です。

球形の新型コロナの周りに、突起状のもの（とげ）があります。スパイクタンパク質と呼ばれ、デルタ株は、とげの形が従来の株と少し変わり（変異し）、このとげが今までの株よりも、受け皿であるヒトの細胞（肺などの細胞）にがっちりとかっつきやすくなります。



東京都健康安全研究センター提供

秋になると「ひっつき虫」と呼ばれる雑草オナモミの実がなります。草むらを歩いた時に服にオナモミのとげがかっつくと、なかなか離れません。同様に、デルタ株はいったん人の肺などの細胞にくっいたら離れにくいので感染力が強くなります。

ある大学の研究室のデータによると、従来の2倍くらいの効率です。また、くっつきやすいデルタ株では、よりたくさん肺の細胞に入り込むことができるので、当然増殖するウイルスも多くなります。そのため、デルタ株に感染した人が呼吸やせき、くしゃみなどで外に出す飛沫（ひまつ）に含まれるウイルスの数が、約1,000倍多かったという研究報告があります。

デルタ株に感染すると、細胞に取り付く力が従来の約2倍のウイルスが、飛沫で大量に飛び散るので、今私たちにとって大きな脅威になっています。

デルタ株の猛威を防止するためにはどのような対策が効果的なのでしょうか。

デルタ株のくっつきやすさ（感染力）は変えられませんが、私たちが周りに広げたり吸い込んだりするウイルスの数は減らすことはできます。

今まで以上にこまめな換気、人との距離をとる、手洗いとマスクの着用などの基本対策を徹底すること、そしてワクチン接種率を上げることです。

私たちがやれること、できることを考え、協力すること。感染のリスクを認識してリスクを回避する行動をとることです。私たち一人ひとりの自覚と責任ある行動で、この危機を乗り越えて行きましょう。

9月の月間目標

自覚と責任ある行動

令和3年度
チャレンジ目標

- 1 明るい挨拶
- 2 5分前行動
- 3 交通ルールを守る
- 4 1%を誰かのために

2学期は運動会や楽学祭をはじめたくさんの行事があります。

3年生の皆さんは就職や大学、専門学校等の受験の時期です。

新型コロナウイルスの変異株であるデルタ株が世界中に拡散していますが、皆さん一人ひとりの自覚と責任ある行動で一つひとつをクリアしていきましょう。

広辞苑には、

「自覚」：自分のあり方をわきまえること。自己自身の置かれている一定の状況を媒介として、そこにおける自己の位置・能力・価値・義務・使命などを知ること。

「責任」：人が引き受けてなすべき任務と書かれています。

二十四節気

『白露（はくろ）』9月7日

この日から仲秋になります。

草の葉に白い露が結ぶという意味。夜の間には大気が冷え込み、草花に朝露が宿ることから名づけられたのでしょう。野にはススキの穂が顔を出し、太陽が離れていくため空が高くなるなど、本格的な秋の到来を感じられる頃です。日中はまだ暑さが残りますが、朝夕の涼しさの中に肌寒さも感じ始めます。

『秋分（しゅうぶん）』9月23日

秋分とは、太陽が黄経180度（秋分点）を通過するときのこと。春分と同じく、太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになります。

極楽浄土があるという真西に太陽が沈むことから、亡くなった人をしのぶ日とされています。

春分・秋分の3日前から7日間をそれぞれ春の彼岸、秋の彼岸とします。

※春分・秋分は「彼岸の中日」といいます。彼岸は日本独自の行事です。

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われ、この日を境に寒さが増してきます。

日本の行事・暦